

# 3xM (世界的な キリスト教番組 制作団体) 代表



## マーティン・ティマー氏 からのメッセージ

先日、来日中のオランダ人クリスチャン「マーティン・ティマー」と東京でお会いし、日本のキリスト教放送について語り合いました。

彼は、世界各地で聖書的価値観に基づいた番組を制作・放映している団体「3xM」(More Mess<sup>スリーバイエム</sup>age in the Media メディアにもっと多くのメッセージを)の代表です。

3xMはこれまで、西アフリカのフランス語圏、パキスタン、バングラデシュ、中央アジアその他、10カ国で質の高いキリスト教番組制作を手がけ、国営の公共放送局でも放映枠をもらうなど、大きな活躍をしています。

しかしまだ日本では、放映活動が始まっていません。彼は日本でも、3xMのキリスト教番組を放映したいという強い熱意を持っています。

このたび、彼から日本のクリスチャンに対し、次のようなメッセージが寄せられました。

### 3xM マーティン・ティマー氏 からのメッセージ

私の周囲ではこれまで、キリストにある多くの兄妹たちが、「それは不可能だよ」

と行ってきました。これは過去28年間私が続けてきた「3xM」の働きに關してです。

3xMの目的の一つは、キリスト教放送を通じ、教会のリーダーたちが心一つにすることにあります。ヨハネの福音書17章21節で主イエスは、

「それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにいたように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことよって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです」

と祈られました。私の望みはまさにこの「みな一つとなる」こ



とにあります。  
 これまで私は様々な国で活動してきました。しかし、その国の

教会のリーダーたちが互いに協力しあっていない現状に、よくぶちあたったのです。

パキスタンで放映された3 x Mのドラマ。「私は罪人でした。しかしこの番組が私を変えてくれました。神は私の罪を赦し、人生を変えてくれたのです」

ある人々は他のリーダーたちを知らず、互いの違いが強調されたり、協力が出し惜しみされたりしました。

しかし、国全体に影響を与えるようなキリスト教番組制作には、それを成功させるため、一致協力が欠かせません。

かつて黒崎幸吉（聖書学者）がその著『キリストにあつて一つの体』で述べたように、私たちの間にいかなる相違点があろうと、また認識していようと、まいと、私たちはすでにクリスチャンとして一つのキリストの体に属する者たちです。

一つになることは、熱意を持てる同じ目的を持つとき、初めて可能になることです。3 x Mは40年近く活動してきた中で、共に一つになることの影響の大きさを目にしてきました。

エストニアでは公共放送局のトップから、「もし君たちが教会のリーダーたちを一つにまとめられるなら、自由な放送枠をあげるよ」と言われました。

ベルギーでは、私たちが教会を一つにすることに貢献したとして、1996年以来ずっと、公共放送局での放送枠を与えられています。

様々な国の協力者らと共に、私たちは常に、洗練された番組をつくることに尽力してきました。

私たちは互いに依存しあっています。そうした努力により番組は好評を博し、様々な国でメジャー放送局のゴールデンタイムに放映されるようになりました。

もし教会が一つになるならば、

たとえば日本のNHKなどメジャーな放送局においても番組が放映されることは決して不可能ではない、と私は信じています。

日本のクリスチャン、また世界のクリスチャンたちが一つになることが大切です。

3 x Mは、日本人の魂に響く番組制作を喜んで支援し、経験と技術を提供いたします。

日本人を主イエスに導くため、主にある日本の兄弟姉妹らの協力をととも必要としています。それなしにはこの事業を成し遂げることはできませんし、それなしにするつもりもありません。

共にこの伝道事業をなすことに、もし関心のある方等いらっしやいましたら、ご連絡下さると感謝です。

マーティン・ティマー  
 (3 x M 代表取締役)

ホームページ [www.3xm-intl.org](http://www.3xm-intl.org)  
 eメール [info@3xm-intl.org](mailto:info@3xm-intl.org)